

平成 22 年 4 月 22 日

**金融商品専門委員会  
ディスカッション・ポイント**

- 金融商品専門委員会では、金融商品会計に関する現行基準の見直し作業を進めており、本年第 2 四半期を目途に分類及び測定に関する検討状況の整理の公表を目指している。
- 第 199 回企業会計基準委員会（4 月 9 日）では、測定区分の基本的な考え方等の議論をいただき、我が国の現行の会計基準の取扱いも踏まえつつ、概ね IFRS 第 9 号をベースに検討を進めていく方向でご議論いただいた。
- 金融商品専門委員会では、第 63 回専門委員会（4 月 1 日）及び第 64 回専門委員会（4 月 19 日）において、以下の検討を行っている。

日時	検討項目	対応論点等
4 月 1 日（木） 第 63 回専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 償却原価を適用する要件</li> <li>• OCI 表示を適用する要件</li> </ul>	論点 2-1
4 月 19 日（月） 第 64 回専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 償却原価を適用する要件</li> <li>• OCI 表示を適用する要件</li> <li>• 公正価値オプション</li> </ul>	論点 2-1 論点 2-1 論点 2-2

- 本日の第 200 回企業会計基準委員会では、第 63 回及び第 64 回専門委員会で議論した「償却原価を適用する要件」、「OCI 表示を適用する要件」について、具体的には以下のポイントを中心にご審議いただきたい（審議事項（４） - 2、及び、（４） - 3）。

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 償却原価及び公正価値の混合測定属性とし、償却原価を適用する金融資産を、事業モデル、契約 CF の特性の 2 要件により区分することでよいか。（審議事項（４） - 2、p.3）</li> <li>• IFRS 第 9 号をベースに、OCI 表示の取扱いを設けることではどうか。その場合、投資処分時の OCI の組替調整に関する提案についてどのように考えるか。（審議事項（４） - 3、p.4）</li> </ul>
---

以上